



クラウド認証

管理者ガイド

目次

変更履歴.....	4
概要.....	5
展開の準備状況チェックリスト.....	6
アプリケーションを設定する.....	7
EWS にアクセスする.....	7
アプリケーションを初期設定のログイン方式として設定する.....	7
管理者ログインを設定する.....	7
アプリケーションの設定ページにアクセスする.....	8
ユーザー認証を設定する.....	8
クライアント ID とクライアントの秘密を設定する.....	10
ログイン画面を設定する.....	10
アプリケーション、コピー、FAX 機能へのパブリックアクセスの有効化.....	11
バッジログアウト遅延の設定.....	12
接続タイムアウトの設定.....	12
設定ファイルをインポートまたはエクスポートする.....	12
ポーリング間隔を更新する.....	13
プリンタのプロキシ設定を構成する.....	14
アプリケーションを使用する.....	16
カードを登録する.....	16
ログインコードを取得する.....	16
プリンタに手動でログインする.....	17
PIN を取得する.....	18
問題に対処する.....	19
アプリケーションエラー.....	19
認証エラー.....	19
バッジ登録が拒否される.....	19
ログインコードの手順を E メールで送信できない.....	19
組織の認証をフェデレーションにすると、[手動ログイン]ボタンが表示される.....	20
ログインコードを使用してログインできない.....	20
E メール登録リンクを使用してバッジを登録できない.....	20

バッジ登録のための E メールを受信していない.....	21
ID サービスプロバイダに接続できない.....	21
PIN の有効期限が切れています.....	21
入力試行回数の上限を超えました.....	21
通知.....	22
索引.....	23

変更履歴

2021 年 4 月

- 管理者ログイン機能に関する情報を追加しました。

2019 年 12 月

- カードリーダーが接続されていない際のユーザーへの警告に関する情報を追加しました。
- PIN のリセットに関する情報を追加しました。
- 認証プロキシの設定に関する情報を更新しました。

2018 年 12 月

以下の情報を更新しました。

- ユーザー認証を設定する
- プリンタに手動でログインする

以下の情報を追加しました。

- ポーリング間隔を設定する
- プリンタのプロキシ設定を構成する
- E メール登録リンクを使用してカードを登録する

2018 年 6 月

- クライアント ID とクライアントの秘密の設定に関する情報を更新しました。
- 設定ファイルのインポートとエクスポートに関する情報を更新しました。
- アプリケーションを初期設定のログイン方式として設定する方法を追加しました。

2018 年 1 月

- 最初の文書のリリース

概要

アプリケーションを使用して、カードリーダーを使用するプリンタを保護します。ユーザーがカードをスワイプすると、クラウドベースの ID サービスプロバイダにより、ユーザーの資格情報が認証されます。

アプリケーションは、Lexmark™ Cloud Platform Web サイトから設定および導入します。設定は、アプリケーション設定ページを使用して手動で設定することもできます。

本書では、アプリケーションの設定、使用、トラブルシューティングを行う方法を説明します。

展開の準備状況チェックリスト

開始する前に、次の点を確認してください。

- サポートされている以下のいずれかのカードリーダーとそのドライバがプリンタにインストールされていること。
 - omnikey5427ckdriver - 1.2.9.flx 以降のバージョン
 - keyboardreader - 2.4.8.flx 以降のバージョン
 - omnikeydriver - 2.4.5.flx 以降のバージョン

- ユーザー認証の設定を行うための以下のホスト名または IP アドレスを知っていること。
 - ID サービスプロバイダ
 - バッジサービスプロバイダ

- アプリケーションが Lexmark クラウドサービスのフリート管理から導入されていない場合は、クライアント ID およびクライアントの秘密を使用します。詳細については、Lexmark の担当者に問い合わせてください。

- カード認証アプリケーションがインストールされていないこと(⇒『カード認証管理者ガイド』)。

- プリンタ機種によっては、以下のいずれかを無効にしてあること。
 - 「ディスプレイのカスタマイズ」アプリケーションのスクリーンセーバー機能(⇒『ディスプレイのカスタマイズ管理者ガイド』)。
メモ: クラウド認証をインストールすると、ディスプレイのカスタマイズのスクリーンセーバー機能が自動的に無効になります。
 - 「背景と待ち受け画面」アプリケーション(⇒『背景と待ち受け画面管理者ガイド』)。

アプリケーションを設定する

アプリケーションを設定するには、管理者権限が必要になることがあります。このアプリケーションは、Lexmark Cloud Platform Web サイトで事前設定されています。アプリケーションの設定ページを使用して、手動で設定を行うことができます。

プリンタにインストールされている組込みソリューションフレームワーク(eSF)のバージョンについては、[ヘルプ情報マニュアル](#)を参照してください。

EWS にアクセスする

- 1 プリンタの IP アドレスを以下の部分で確認します。次のいずれかを実行します。
 - プリンタのホーム画面で IP アドレスを確認します。
 - [ネットワーク/ポート]メニューの[ネットワークの概要]セクションまたは[TCP/IP]セクションで IP アドレスを確認します。
- 2 Web ブラウザを開き、プリンタの IP アドレスを入力します。

アプリケーションを初期設定のログイン方式として設定する

これらの設定は、eSF バージョン 5.0 以降が使用されているプリンタにのみ適用できます。初期設定のログイン方式として、クラウド認証を設定する必要があります。

メモ: プリンタにインストールされている組込みソリューションフレームワーク(eSF)のバージョンについては、[ヘルプ情報マニュアル](#)を参照してください。

- 1 EWS で、[設定] > [セキュリティ] > [ログイン方式]をクリックします。
- 2 [初期設定の操作パネルログイン方式]の横にある[変更]をクリックします。
- 3 [操作パネル]メニューで[クラウド認証]を選択します。
- 4 [保存]をクリックします。

管理者ログインを設定する

メモ:

- [管理者ログイン設定]を使用すると、クラウド認証ロック画面のあるプリンタがネットワークから切断されている場合でも、許可されたローカルアカウントを使用してログインできます。
- Lexmark クラウドサービスフリート管理で設定を作成する際、[設定]セクションから**クラウド印刷管理アプリケーション**を選択します。[詳細設定]セクションで、[**ロック画面に管理者ログインを表示**]をクリックします。
- 設定の作成とプリンタへの展開について、詳しくは『Lexmark クラウドサービス管理者ガイド』を参照してください。
- 複数のプリンタまたはフリートに設定を適用するには、プリンタから設定をエクスポートし、同じ設定を目的のプリンタまたはフリートに適用します。

内蔵 Web サーバーを使用する

eSF バージョン 5.0 以降の場合

- 1 EWS からアプリケーションの設定ページに移動します。
[アプリ] > [クラウド認証] > [設定]
- 2 [ユーザー認証]セクションの[管理者ログイン設定]セクションで、[管理者ログイン]を指定のログイン方法に設定します。
メモ: プリンタのローカル管理者アカウントが設定されていること、およびデバイス管理者グループの権限が設定されていることを確認します。デフォルトでは、このグループに機能やメニューは適用されません。
- 3 管理者ログイン機能を使用する権限を持つグループを選択します。
メモ: この設定は、ユーザー名のアカウント、およびユーザー名とパスワードのアカウントにのみ適用されます。
- 4 スクリーンセーバーに管理者ログイン ボタンを表示するには、[スクリーンセーバーで表示する]を選択します。
- 5 [保存]をクリックします。

eSF バージョン 4.0 以前の場合

メモ: 管理者ログイン機能を使用する場合は、内部アカウント、PIN、パスワードのセキュリティテンプレートが設定されていることを確認します。詳細については、[「ユーザー認証を設定する」、8 ページ](#)を参照してください。

- 1 EWS からアプリケーションの設定ページにアクセスします。
- 2 [ユーザー認証]セクションから、[管理者ログインのアクセス制御]を適切なログイン方式に設定します。
メモ:
 - 選択したアクセス制御がセキュリティテンプレートで設定されていることを確認します。詳細については、[「ユーザー認証を設定する」、8 ページ](#)を参照してください。
 - [無効]を選択すると、プリンタパネルで[管理者ログイン]オプションが非表示になります。
- 3 [適用]をクリックします。

アプリケーションの設定ページにアクセスする

- 1 EWS で、プリンタモデルに応じて、以下のいずれかを実行します。
 - [アプリ]をクリックします。
 - [設定] > [アプリ] > [アプリ管理]の順にクリックします。
 - [設定] > [デバイスソリューション] > [ソリューション(eSF)]の順にクリックします。
 - [構成] > [組込みソリューション]の順にクリックします。
- 2 [クラウド認証] > [構成]の順にクリックします。

ユーザー認証を設定する

メモ:

- eSF バージョン 5.2.x およびバージョン 2.2.x 以降では、ユーザー認証設定は、プリンタを登録した会社のプリンタログイン構成設定から継承されます。

- プリンタにインストールされている組込みソリューションフレームワーク(eSF)のバージョンの詳細情報については、[ヘルプ情報マニュアル](#)を参照してください。
- プリンタログインの設定の詳細情報については、『Lexmark Cloud Services 管理者ガイド』を参照してください。
- プリンタの設定は、ID サービスプロバイダ、クライアント ID、会社のクライアントの秘密を使用して更新されます。更新した設定を確認するには、ID サービスプロバイダの値を指定し、設定を保存したあとで、ページの表示内容を更新します。

1 EWS からアプリケーションの設定ページにアクセスします。

2 [ID サービスの設定]セクションから、[ロック画面を有効化]または[待ち受け画面を有効化]を選択します。

3 ID サービスプロバイダおよびバジサービスプロバイダの IP アドレス、ホスト名、または URL を入力します。

4 アプリケーションアクセスポリシーを設定します。

- **継続**—ID サービスプロバイダへの接続が失敗しても、ユーザーはプリンタを引き続き使用できます。
- **失敗**—ID サービスプロバイダへの接続が失敗した場合、プリンタディスプレイがログイン画面に戻ります。

5 安全な接続を使用するには、ID サービスプロバイダの SSL 証明書をアップロードします。

メモ: SSL 証明書を作成する方法については、お使いの Web ブラウザに付属の説明書を参照してください。

6 ユーザーに別のサービスアカウントを使用してプリンタにログインさせる場合は、[サービスアカウントを使用]を選択し、サービスアカウントの資格情報を入力します。

メモ: アプリケーションにフェデレーションアクセスが設定されている場合、この設定は適用されません。詳細については、[「クライアント ID とクライアントの秘密を設定する」](#)、10 ページ を参照してください。

7 以下のいずれかの手順を実行します。

eSF バージョン 5.0 以降の場合

a [カード登録設定]セクションから、[カード登録]を[ID サービス]に設定します。

メモ: [カード登録]が[無効]に設定されている場合、ユーザーはカードを登録できません。

b [保存]をクリックします。

eSF バージョン 3.x および 4.x の場合

a [ユーザー認証]セクションから、[カード検証]を[ID サービス]に設定します。

b [カード登録のアクセス制御]を[ID サービス]に設定します。

c [適用]をクリックします。

d EWS で[設定] > [セキュリティ] > [セキュリティセットアップ] > [アクセス制御] > [デバイスソリューション]の順にクリックします。

e [セッションのアクセス制御]を、クラウド認証で設定されているセキュリティテンプレートに設定します。

メモ: 初期設定のセキュリティテンプレートは、[ソリューション 2]です。

f [適用]をクリックします。

eSF バージョン 2.x の場合

eSF セキュリティマネージャアプリケーションを使用して、プリンタの機能とアプリケーションを保護します。

メモ: (⇒『eSF セキュリティマネージャ管理者ガイド』)。

クライアント ID とクライアントの秘密を設定する

クライアント ID とクライアントの秘密は、ユーザーとプリンタが同じ会社に所属しているかどうかを検証するために使用されます。

クライアント ID とクライアントの秘密は、Lexmark Cloud から生成できます(⇒『Lexmark Cloud 管理者ガイド』)。

- 1 EWS からアプリケーションの設定ページにアクセスします。
- 2 [詳細設定]セクションに、クライアント ID とクライアントの秘密を入力します。
- 3 [保存]をクリックします。

ログイン画面を設定する

- 1 EWS からアプリケーションの設定ページにアクセスします。
- 2 設定を行います。

eSF バージョン 5.0 以降の場合

a [ログイン画面の設定]をクリックし、以下のいずれかを実行します。

- ログインメッセージをカスタマイズします。
- カスタムのログインテキストカラーを黒または白に設定します。
- ログイン画面の背景画像をアップロードします。
- 手動ログインメッセージをカスタマイズします。
- ログインなしのコピーおよび FAX 機能を有効にします。

メモ: 詳細については、[「アプリケーション、コピー、FAX 機能へのパブリックアクセスの有効化」、11 ページ](#) を参照してください。

- カードリーダーが接続されていない場合の警告を無効にします。
- [ロック画面の設定]セクションから、以下のいずれかを実行します。
 - ログインテキストの位置を選択します。
 - ログインに成功した後、自動的に起動するプロファイルの名前を入力します。
- [ユーザー定義プロファイル]セクションから、以下のいずれかを実行します。
 - ユーザーがロック画面からアクセスできるプロファイル名またはプリンタ機能を入力します。

メモ: 指定したアプリケーションへのパブリックアクセスが有効になっていることを確認します詳細については、[「アプリケーション、コピー、FAX 機能へのパブリックアクセスの有効化」、11 ページ](#) を参照してください。

- ロック画面に表示されるアイコンの名前をカスタマイズします。
- カスタムのアイコン画像をアップロードします。

b [保存]をクリックします。

eSF バージョン 4.0 以前の場合

a [ログイン画面]セクションから、以下のいずれかを実行します。

- 背景の透過を有効にします。
- ログインメッセージをカスタマイズします。
- ログイン画面の背景画像をアップロードします。

- ログインなしのコピーおよび FAX 機能を有効にします。

メモ: 詳細については、[「アプリケーション、コピー、FAX 機能へのパブリックアクセスの有効化」、11 ページ](#) を参照してください。

- カードリーダーが接続されていない場合の警告を無効にします。
- [ユーザー定義プロファイル]フィールドで、ユーザーがロック画面からアクセスできるアプリケーション名またはプリンタ機能を入力します。

メモ: 指定したアプリケーションへのパブリックアクセスが有効になっていることを確認します詳細については、[「アプリケーション、コピー、FAX 機能へのパブリックアクセスの有効化」、11 ページ](#) を参照してください。

- ロック画面に表示されるアイコンの名前をカスタマイズします。
- ログインテキストの位置を選択します。
- アイコンとアイコンテキストの位置を選択します。

メモ: 各設定の詳細については、マウスカーソルを合わせると表示されるヘルプを参照してください。

- b [適用]をクリックします。

アプリケーション、コピー、FAX 機能へのパブリックアクセスの有効化

メモ: アクセス制御の詳細については、プリンタの『EWS セキュリティ管理者ガイド』を参照してください。

eSF バージョン 5.0 以降の場合

- 1 EWS で、[設定] > [セキュリティ] > [ログイン方式]をクリックします。
- 2 [パブリック]セクションで、[権限を管理]をクリックします。
- 3 [機能アクセス]を展開し、[コピー機能]および[FAX 機能]を選択します。
- 4 [アプリ]を展開し、アプリケーションを選択します。
- 5 [保存]をクリックします。

eSF バージョン 4.0 以前の場合

- 1 EWS で、[設定]または[構成設定]をクリックします。
- 2 プリンタ機種に応じて、以下のいずれかを実行します。
 - [セキュリティ] > [セキュリティ設定] > [アクセス制御] > [機能アクセス]をクリックします。
 - [セキュリティ] > [セキュリティ設定の編集] > [アクセス制御]をクリックします。
- 3 アプリケーション、コピー、FAX 機能を[セキュリティなし]に設定します。
- 4 [送信]をクリックします。

バッジログアウト遅延の設定

プリンタで次のタップがログアウトとして登録されるまでの時間を設定します。

- 1 EWS からアプリケーションの設定ページにアクセスします。
- 2 次のいずれかを実行します。

eSF バージョン 5.0 以降の場合

- a [詳細設定]をクリックし、バッジログアウトの遅延を調整します。
- b [保存]をクリックします。

eSF バージョン 4.0 以前の場合

- a [ホーム画面]セクションから、バッジログアウトの遅延値を入力します。
- b [適用]をクリックします。

接続タイムアウトの設定

- 1 EWS からアプリケーションの設定ページにアクセスします。
- 2 次のいずれかを実行します。

eSF バージョン 5.0 以降の場合

- a [ID サービスの設定]セクションから、ネットワークおよびソケットのタイムアウトを調整します。
- b [保存]をクリックします。

eSF バージョン 4.0 以前の場合

- a [詳細設定]セクションから、ネットワークおよびソケットのタイムアウト値を入力します。
- b [適用]をクリックします。

設定ファイルをインポートまたはエクスポートする

設定ファイルをインポートすると、既存のアプリケーション設定が上書きされます。

- 1 EWS からアプリケーションの設定ページにアクセスします。
- 2 次のいずれかを実行します。

eSF バージョン 5.0 以降の場合

- a [構成をインポート/エクスポート]をクリックします。
- b 次のいずれかを実行します。

設定ファイルのエクスポート

[エクスポート]をクリックします。

メモ: エクスポートされた設定ファイルには、クライアントの秘密とサービスアカウントのパスワード値は含まれていません。

設定ファイルのインポート

1 クライアント ID とクライアントの秘密を指定してください。テキストエディタを使用して、設定ファイルを開き、以下の設定の値を編集します。

- `esf.cloudAuth.settings_identityserver_client_id`
- `esf.cloudAuth.settings_identityserver_client_secret`

サービスアカウントのユーザー名とパスワードで、以下の設定値を編集します。

- `esf.cloudAuth.settings_deviceAuth_userId`
- `esf.cloudAuth.settings_deviceAuth_password`

メモ: 値は二重引用符で囲むようにしてください。

2 設定ファイルを参照し、[インポート]をクリックします。

eSF バージョン 4.0 以前の場合

a [構成をインポート/エクスポート]をクリックします。

b 次のいずれかを実行します。

設定ファイルのエクスポート

[エクスポート]をクリックします。

メモ: エクスポートされた設定ファイルには、クライアントの秘密とサービスアカウントのパスワード値は含まれていません。

設定ファイルのインポート

1 クライアント ID とクライアントの秘密を指定してください。テキストエディタを使用して、設定ファイルを開き、以下の設定の値を編集します。

- `esf.cloudauth.settings.identityserver.client.id`
- `esf.cloudauth.settings.identityserver.client.secret`

サービスアカウントのユーザー名とパスワードで、以下の設定値を編集します。

- `esf.cloudauth.settings.identityserver.deviceAuth.userId`
- `esf.cloudauth.settings.identityserver.deviceAuth.password`

メモ: 値は二重引用符で囲むようにしてください。

2 [インポート]をクリックします。

3 設定ファイルを参照し、[開始]をクリックします。

ポーリング間隔を更新する

アプリケーションの展開後に、プリンタのログイン設定が変更された場合、新しい設定は次のポーリング間隔のあとで有効になります。

初期設定では、アプリケーションは 15 分(900 秒)ごとに更新を確認します。

ポーリング間隔は、アプリケーション設定ファイルを使用して更新できます。

1 設定ファイルをエクスポートします。

メモ: 詳細については、「[設定ファイルをインポートまたはエクスポートする](#)」、12 ページ を参照してください。

2 テキストエディタを使用して、設定ファイルを開き、以下の設定の値を編集します。

メモ: 値は秒数にする必要があります。たとえば、15 分の場合は 900 を使用します。

eSF バージョン 5.0 以降

`esf.cloudAuth.pollingInterval`

eSF バージョン 4.0 以前

`esf.cloudauth.pollingInterval`

3 設定ファイルを保存し、インポートします。

プリンタのプロキシ設定を構成する

内蔵 Web サーバーを使用する

会社内でプロキシサーバーの IP アドレスを通信に使用している場合は、HTTP/FTP の設定を指定します。

1 EWS で、以下のいずれかを実行します。

eSF バージョン 5.0 以降の場合

- a [デバイス] > [ネットワーク/ポート] > [HTTP/FTP の設定] の順にクリックします。
- b HTTP プロキシサーバーの IP アドレスを入力します。

eSF バージョン 4.0 以前の場合

- a [設定] > [ネットワーク/ポート] > [TCP/IP] の順にクリックします。
- b [HTTP/FTP の設定] セクションで、HTTP プロキシサーバーの IP アドレスを入力します。

2 設定を保存します。

認証プロキシサーバーを設定する

プロキシサーバーがホスト名を使用して設定されている場合、またはプロキシサーバーにユーザー名とパスワードが必要な場合は、次の手順に従います。

1 EWS で、以下のいずれかを実行します。

eSF バージョン 5.0 以降の場合

- a [アプリ] > [アプリフレームワーク設定] をクリックします。
- b [フレームワーク設定] セクションで、[プリンタのプロキシ設定を使用する] をオフにします。
- c HTTP プロキシサーバーのホスト名とプロキシ資格情報を入力します。

eSF バージョン 4.0 以前の場合

- a プリンタ機種に応じて、次のいずれかを実行します。
 - [設定] > [アプリ] > [アプリ管理] > [システム] > [設定] の順にクリックします。
 - [設定] > [デバイスソリューション] > [ソリューション (eSF)] > [システム] > [設定] の順にクリックします。
 - [設定] > [内蔵ソリューション] > [システム] > [設定] の順にクリックします。
- b [プリンタのプロキシ設定を使用する] をオフにします。
- c HTTP プロキシサーバーのホスト名とプロキシ資格情報を入力します。

2 設定を保存します。

設定ファイルを使用する

次の設定を含む UCF または VCC ファイルをインポートします。

```
<setting name="settings.useprinterproxy">  
<setting name="settings.http.proxyurl">  
<setting name="settings.http.proxyport">  
<setting name="settings.proxyurl">  
<setting name="settings.proxyport">
```

サンプル値

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>  
<esfSettings>  
  <app name="systemManagerImpl" settingVersion="6.2.0">  
    <global>  
      <setting name="settings.useprinterproxy">false</setting>  
      <setting name="settings.http.proxyurl">http.proxy1.fmr.com</setting>  
      <setting name="settings.http.proxyport">80</setting>  
      <setting name="settings.proxyurl">http.proxy.fmr.com</setting>  
      <setting name="settings.proxyport">8000</setting>  
    </global>  
  </app>  
</esfSettings>
```

アプリケーションを使用する

カードを登録する

- 1 カードリーダーでカードをタップします。
- 2 プリンタの操作パネルで、認証設定に応じて以下のいずれかを実行します。

メモ:

- Lexmark Cloud Services のプリンタログイン設定によっては、登録を続行する前に、PIN の入力を求められることがあります。プリンタログインの設定の詳細情報については、『Lexmark Cloud Services 管理者ガイド』を参照してください。
- バッジは一時的または固定的に設定できます。
- ログインコードを入力します。

メモ:

- 詳細については、「[ログインコードを取得する](#)」、[16 ページ](#) を参照してください。
- 手順を E メールで送信したり印刷したりすることもできます。
- 自分のユーザー資格情報を入力します。

- 3 [登録]をタッチします。

E メール登録リンクを使用する

会社の[手動/セキュアログイン]が無効になっており、プリンタの操作パネルを使用している場合は、Eメールの登録リンク経由でのみバッジを登録できます。

プリンタログインの設定の詳細情報については、『Lexmark Cloud Services 管理者ガイド』を参照してください。

- 1 お使いのプリンタの機種に応じて、[Eメール]または[Eメール経由で登録]をタッチします。
- 2 [次へ]をタッチし、Eメールアドレスを入力します。
お使いの E メールアドレスに、URL が記載された E メールが送信されます。
- 3 Eメール内の URL をクリックします。
- 4 Lexmark Cloud Services のホームページから、資格情報を入力します。

ログインコードを取得する

アプリケーションが SSO を使用して、フェデレーションセットアップからユーザーを認証するように設定されている場合、ログインコードが必要です。

Web ポータルを使用する場合

- 1 次のいずれかを実行します。
 - Web ブラウザを開き、cloud.lexmark.com/device と入力します。
 - モバイルデバイスから、QR コードリーダーアプリケーションを使用して、プリンタの操作パネルの QR コードをスキャンします。
- 2 自分のユーザー資格情報を入力します。

3 ログインコードを書き留めます。

Lexmark モバイル印刷アプリケーションを使用する場合

(⇒ モバイルデバイスの『Lexmark モバイル印刷ユーザーズガイド』)。

- 1 アプリケーションのホーム画面から、[ログインコード]をタップします。
- 2 ログインコードを書き留めます。

Lexmark Cloud Services を使用する

(⇒ 『Lexmark Cloud Services ユーザーズガイド』)。

- 1 Lexmark Cloud Services のホームページでページの右上にあるユーザー名をクリックし、[マイアカウント]をクリックします。
- 2 [個人情報]セクションから、[ログインコードを生成]をクリックします。
- 3 ログインコードを書き留めます。

メモ:

- ログインコードは 15 分後に自動的に更新されます。
- ログインコードを使用できるのは 1 回だけです。

プリンタに手動でログインする

プリンタログインの設定の詳細情報については、『Lexmark Cloud Services 管理者ガイド』を参照してください。

1 プリンタの操作パネルで、プリンタログインの設定に応じて以下のいずれかを実行します。

- [手動ログイン]をタッチし、自分のユーザー資格情報を入力します。

メモ: このボタンは、組織の認証がフェデレーションされていない場合にのみ表示されます。

- [セキュアログイン]をタッチし、ログインコードを入力します。

メモ:

- 詳細については、[「ログインコードを取得する」、16 ページ](#)を参照してください。
- このボタンは、組織の認証がフェデレーションアクセスで設定されている場合にのみ表示されます。

- [PIN ログイン]をタッチし、PIN を入力します。

メモ: ログインの前に、PIN があることを確認してください。詳細については、[「PIN を取得する」、18 ページ](#)を参照してください。

- [管理者ログイン]をタッチし、自分のユーザー資格情報を入力します。

メモ:

- このボタンは、Lexmark クラウドサービスフリート管理で設定を作成する際、[ロック画面に管理者ログインを表示する]を選択した場合にのみ表示されます。
- 管理者ログインの詳細については、[「管理者ログインを設定する」、7 ページ](#)を参照してください。

2 [ログイン]をタッチします。

カードと 2 要素認証を使用してプリンタにログインする

- 1 カードリーダーでカードをタップします。
- 2 PIN を入力します。

メモ: ログインの前に、PIN があることを確認してください。詳細については、[「PIN を取得する」](#)、18 ページを参照してください。

PIN を取得する

この設定は、Lexmark クラウドサービスの PIN 生成オプションが[ユーザーが設定]に設定されている場合にのみ使用できます(⇒『Lexmark クラウドサービス管理者ガイド』)。

- 1 Lexmark クラウドサービスのホームページでページの右上にあるユーザー名をクリックし、[マイアカウント]をクリックします。
- 2 [プリンタログイン]セクションで[PIN を設定]をクリックします。
- 3 PIN を入力します。
- 4 [PIN を生成]をクリックします。

PIN をリセットする

- 1 Lexmark クラウドサービスのホームページでページの右上にあるユーザー名をクリックし、[マイアカウント]をクリックします。
- 2 [プリンタログイン]セクションで[PIN をリセット]をクリックします。
- 3 新しい PIN を入力します。
- 4 [PIN を生成]をクリックします。

問題に対処する

アプリケーションエラー

次の手順を 1 つ以上実行します。

診断ログを確認する

- 1 Web ブラウザを開き、「**IP/se**」と入力します(ここで、「**IP**」は、プリンタの IP アドレスです)。
- 2 **[組み込みソリューション]**をクリックしてから、次の操作を実行します。
 - a ログファイルをクリアします。
 - b ログレベルを**[はい]**に設定します。
 - c ログファイルを生成します。
- 3 ログを分析し、問題を解決します。
メモ: 問題が解決した後、ログレベルを**[いいえ]**に設定します。

Lexmark 担当者に問い合わせる

認証エラー

次の手順を 1 つ以上実行します。

プリンタがネットワークに接続されていることを確認する

(⇒ 本機の『ユーザズガイド』)。

ID サービスプロバイダがオンラインであり、ビジーではないことを確認する

詳細については、システム管理者に問い合わせてください。

バッジ登録が拒否される

ID サービスプロバイダとバッジサービスプロバイダが正しく設定されていることを確認します

詳細については、[「ユーザー認証を設定する」](#)、[8 ページ](#) を参照してください。

ログインコードの手順を E メールで送信できない

SMTP サーバーが正しく設定されていることを確認します

プリンタの E メール機能には、正しい SMTP サーバーアドレスを設定する必要があります。詳細については、システム管理者に問い合わせてください。

組織の認証をフェデレーションにすると、[手動ログイン]ボタンが表示される

次の手順を1つ以上実行します。

プリンタがネットワークに接続されていることを確認する

インストール中に、プリンタがネットワークから切断されたか、サーバーに到達できなくなっている可能性があります(⇒ 本機の『ユーザズガイド』)。

[手動ログイン]をタッチします。サーバーが到達可能な場合、認証プロセスはセキュアログイン認証と同じになります。ログアウト後、[セキュアログイン]ボタンが表示されます。

アプリケーション設定ページの設定のやり直し

クライアント ID とクライアントの秘密が正しく設定されていることを確認する

詳細については、[「クライアント ID とクライアントの秘密を設定する」](#)、10 ページ を参照してください。

ログインコードを使用してログインできない

ログインコードが使用されていないこと、およびログインコードが有効であることを確認します

メモ:

- ログインコードは 15 分後に自動的に更新されます。
- ログインコードを使用できるのは 1 回だけです。

E メール登録リンクを使用してバッジを登録できない

バッジを一度だけ登録します

お使いのバッジには、保留中のバッジ登録リクエストが存在している可能性があります。E メール登録リンクでは、バッジを複数回登録することはできません。

バッジ登録のための E メールを受信していない

次の手順を 1 つ以上実行します。

E メールアドレスが正しく入力されていることを確認します

E メールアドレスが有効であることを確認します

Lexmark 担当者にお問い合わせます

アプリケーションエラーまたはクラウドサーバーエラーが発生した可能性があります。

ID サービスプロバイダに接続できない

接続タイムアウトの値を大きくする

詳細については、[「接続タイムアウトの設定」](#)、12 ページ を参照してください。

プロキシ構成設定が正しいことを確認する

詳細については、[「プリンタのプロキシ設定を構成する」](#)、14 ページ を参照してください。

PIN の有効期限が切れています

PIN をリセットする

詳細については、[「PIN を取得する」](#)、18 ページ を参照してください。

会社管理者にお問い合わせください

入力試行回数の上限を超えました

ロックアウト時間が経過するのを待つ

5 分ほど待ってからもう一度お試しください。

会社管理者にお問い合わせください

通知

版通知

2021 年 4 月

この章に記載された内容は、これらの条項と地域法とに矛盾が生じる国では適用されないものとします。Lexmark International, Inc. は本ドキュメントを「現状有姿」で提供し、明示的または黙示的であるかを問わず、商品性および特定目的に対する適合性の黙示的保証を含み、これに限定されないその他すべての保証を否認します。一部の地域では特定の商取引での明示的または黙示的な保証に対する免責を許可していない場合があり、これらの地域ではお客様に対して本条項が適用されない場合があります。

本ドキュメントには、不正確な技術情報または誤植が含まれている場合があります。ここに記載された情報は定期的に変更され、今後のバージョンにはその変更が含まれます。記載された製品またはプログラムは、任意の時期に改良または変更が加えられる場合があります。

本ドキュメントで特定の製品、プログラム、またはサービスについて言及している場合でも、すべての国々でそれらが使用可能であることを黙示的に意味しているものではありません。特定の製品、プログラム、またはサービスについてのすべての記述は、それらの製品、プログラム、またはサービスのみを使用することを明示的または黙示的に示しているものではありません。既存の知的財産権を侵害しない、同等の機能を持つすべての製品、プログラム、またはサービスを代替して使用することができます。製造元が明示的に指定した以外の製品、プログラム、またはサービスと組み合わせた場合の動作の評価および検証は、ユーザーの責任において行ってください。

Lexmark テクニカルサポートについては、<http://support.lexmark.com> にアクセスしてください。

本製品の使用に関する Lexmark のプライバシーポリシーの詳細については、www.lexmark.com/privacy にアクセスしてください。

消耗品およびダウンロードについては、www.lexmark.com にアクセスしてください。

© 2018 Lexmark International, Inc.

All rights reserved.

商標

Lexmark および Lexmark ロゴは、米国およびその他の国における Lexmark International, Inc. の商標または登録商標です。

その他すべての商標は、それぞれの所有者の財産です。

ライセンスに関する通知

この製品に関連するライセンスに関するすべての通知は、アプリケーションパッケージまたは Lexmark サポートサイトから表示できます。

索引

アルファベット

E メール登録リンクを使用してバッジを登録できない 20

FAX 機能

パブリックアクセスの有効化 11
ID サービスプロバイダに接続できない 21
PIN の有効期限が切れていません 21
PIN を設定する 18
PIN をリセットする 18

あ行

アプリケーション

パブリックアクセスの有効化 11
アプリケーションエラー 19
アプリケーション、コピー、FAX 機能へのパブリックアクセスを有効化する 11
アプリケーションの設定ページ
アクセス 8
アプリケーションの設定ページにアクセスする 8
暗証番号
設定 18
リセット 18

か行

会社の認証をフェデレーションにすると、[手動ログイン]ボタンが表示される 20
概要 5
カード
登録 16
カードを登録する 16
管理者ログイン設定
設定 7
管理者ログインを設定する 7
クライアント ID
設定 10
クライアント ID とクライアントの秘密を設定する 10
クライアントの秘密
設定 10
コピーおよび FAX 機能
パブリックアクセスの有効化 11

コピー機能

パブリックアクセスの有効化 11

さ行

手動ログイン 17
初期設定のログイン方式 7
設定 7
接続タイムアウト
設定 12
接続タイムアウトを設定する 12
設定ファイル
インポート 12
エクスポート 12
設定ファイルをインポートする 12
設定ファイルをエクスポートする 12
ソケットのタイムアウト
設定 12

た行

チェックリスト
展開の準備状況 6
展開の準備状況チェックリスト 6

な行

内蔵 Web サーバー
アクセス 7
内蔵 Web サーバーにアクセスする 7
入力試行回数の上限を超えました 21
認証エラー 19
認証プロキシ設定
設定 14
ネットワークタイムアウト
設定 12

は行

バッジ登録が拒否される 19
バッジ登録のための E メールを受信していない 21
バッジログアウトの遅延
設定 12
バッジログアウトの遅延を設定する 12
プリンタに手動でログインする 17

プリンタのプロキシ設定

設定 14
プリンタのプロキシ設定を構成する 14
変更履歴 4
ポーリング間隔
更新 13
ポーリング間隔を更新する 13

ま行

問題に対処する

E メール登録リンクを使用してバッジを登録できない 20
ID サービスプロバイダに接続できない 21
PIN の有効期限が切れていません 21
アプリケーションエラー 19
認証エラー 19
バッジ登録が拒否される 19
バッジ登録のための E メールを受信していない 21
ログインコードの手順を E メールで送信できない 19
ログインコードを使用してログインできない 20
会社の認証をフェデレーションにすると、[手動ログイン]ボタンが表示される 20
入力試行回数の上限を超えました 21

や行

ユーザー認証の設定
設定 8
ユーザー認証を設定する 8

ら行

ログイン
手動 17
ログイン画面の設定
設定 10
ログイン画面を設定する 10
ログインコード
取得 16
ログインコードの手順を E メールで送信できない 19

ログインコードを取得する 16
ログインコードを使用してログイン
できない 20